

第 2 回食育推進県民大会開催結果概要

平成18年11月に策定した宮城県食育推進プランでは、県民一人ひとりの食に対する意識の高揚と機運の醸成を図り、食育を県民運動として展開するため、毎年11月を「みやぎ食育推進月間」と定め、食育推進運動を重点的に実施することとしたところであり、「みやぎ食育推進月間」の中核的イベントとして食育推進県民大会を開催しました。

日時 平成20年11月11日（火） 午後1時～4時
場所 仙台市太白区文化センター「楽楽楽ホール」

【開会あいさつ】 宮城県知事 村井 嘉浩

朝食の欠食に代表される食生活の乱れ、栄養の偏り、生活習慣病の増加や伝統的な食文化が失われつつあることなど、現代社会の食をめぐる問題に触れ、食育の重要性を訴えました。

また、「仙台・宮城destinationキャンペーン」について、豊かな自然の恵みを受けた宮城の海・山・里の多様な食材と美しい景色、そして脈々と息づく伊達文化といった本県の素晴らしい魅力を、県外からのお客様だけでなく、県民の皆様にも是非再発見していただきたいと呼びかけました。



(知事 あいさつ)

【表彰式】(みやぎ食育活動優良実践者表彰)

食育に対する関心を高め、県民の皆さまの食育活動に対する取組を一層推進するため、食育に対する活動に積極的に取り組んでいる方々を表彰しました。



(受賞者の方々)

最優秀賞	東北大学生協同組合 ～ミールプラン 大学生の食習慣の自立に貢献します～
優秀賞	リバース・ファイブ ～食育コンサート～ 十符の里 農産物直売所 ふれあい館 ～保育所園児と地元生産者のふれあい野菜交流事業～
食育奨励賞	加美町グリーン・ツーリズム推進会議 ～農村と都市の架け橋として～ 熊谷 幸夫 氏、幸江 氏 ～原木しいたけ栽培の体験学習～

【記念講演】

近年相次いで発生している食品偽装表示問題等をきっかけとして、消費者の食品の安全性に対する関心がかつてないほどの高まりをみせている反面、これらの問題に対するメディアからの偏った報道に惑わされ、自ら正しい判断ができないことなどにより、家庭での食生活が大きく左右される問題が深刻化しています。

このため、多くの県民の方々に正しい食物の知識を身に付け、根拠のない迷信、行き過ぎた食料品宣伝などに惑わされず、正しい選食の力を身に付ける必要性について関心をもっていただくため、フードファティズムに関する第一人者である群馬大学教育学部の高橋久仁子教授をお招きし御講演いただきました。

演題 「食べもの神話」の落とし穴 ～巷にはびこるフードファティズム～

講師 群馬大学教育学部 教授 高橋 久仁子 氏



(群馬大学 教授 高橋久仁子 氏)

【事例発表】

- (1) 「おおさき楽友会と食育活動」
矢内 信孝 氏
・みやぎ食育コーディネーター
・鳴子温泉「大正館」料理長
- (2) 「ミールプラン～大学生の食習慣の自立に貢献します～」
穴田 清子 氏
・東北大学生協同組合食堂本部 管理栄養士



(矢内 氏)



(穴田 氏)

